① 食育月間の取組

① 食育月間の取組							
提出都道府県名政令指定都市名	沖縄県						
取組団体・企業名	沖縄県保健医療部						
取 組 の 名 称	①おきなわ県民の食に関するパネル展 ②県広報媒体(テレビ番組・広報誌)、新聞掲載を活用した普及啓発活動						
実 施 時 期	①令和4年5月18日(水)~6月27日(月) ②令和4年6月1日(水)※広報番組放送日(6/4,6/5)						
取組内容	①沖縄県の特性を活かした食育(県産食材を利用した島野菜の摂取促進、伝統的な食文化の普及・継承)や食品ロスに関するコーナーを併設し、総合的な食育の普及に取り組んでいます。 〈開催場所:沖縄県立図書館(那覇市)〉 食育全般に係るパネル設置 県産食材のプロモーション						
	②パネル展示と連動して、沖縄県の広報番組と広報誌による特集に加え、地元新聞 2紙へ掲載するなど、期間中に集中的な情報発信を行いました。						
	県広報番組による啓発 地元新聞への広告掲載						

フルなで広げよう! 食育の輸

(まま)





① 食育月間の取組

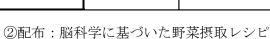
提出都道府県名	沖縄県				
政 令 指 定 都 市 名					
取組市町村名	那覇市				
取組団体・企業名					
取組の名称	Instagram での食育に関する情報発信				
実 施 時 期					
取 組 内 容	【 目 的 】食育を身近なものとして捉え、家庭での実践に繋げることを目的に				
	実施しました。				
	【対象者】Instagram のフォロワー				
	または # (ハッシュタグ) 検索等からの投稿閲覧者				
	【 人 数 】180人(リーチしたアカウント数)				
	【実施内容】主に Instagram を利用している若者や子育て世代をターゲットに、				
	コロナでおうち時間が増える中でも、「食育」を難しく考えず、自宅で				
	気軽に取り組めるような内容にしました。投稿の中に、パネル展の案内				
	や、ホームページの食育ページへも誘導する文言を入れることで、より				
	興味や知識を深められるようにしました。				
	【那覇市健康増進課 Instagram】 https://www.instagram.com/naha_karada/				
	#ASADA uniq おうちでも Let's 食育 生活リズムを整える 食べ物を搭題にする				
	LECTIC [BRI]				
	6月は食育月間 (おうちでも ten get ten g				
	・ 東京できる前の開催の : 「中的は、中国の大学の開催の展開します。				
	#イント3 ポイント4 ポイント5 ポイント6 カスブラーを身につける 野菜ブラス1回チャレンジ 食に関する絵本を読む 一緒に買い物に行く				
	NAME OF THE PARTY				
	A) (() Company of the contract				
	EVERYDAY				
	全育パネル展 SVERYDAY IS A CHANCE TO CHANGE				
	YOUR LIFE ### ################################				
	#-An-V-17074-A60-54-0170				
	HAU ACOUNT II (1)				

① 食育月間の取組

坦	出都道	首	夕	沖縄県					
175				1中)电片					
政	令 指 5	官都市	名						
取	組市	町村	名	南風原町					
取	組団体	・企業	名	名					
取	組 0	D 名	称	町と地元スーパーと連携「肥満・高血圧予防対策事業」					
実	施	時	期	令和4年6月1日~30日					
取	組	内	容	町の健康課題を医療費・健診結果等を広く周知し、課題である高血圧を具体的な解決					
				にむけた保健指導を地元スーパーと連携し野菜売り場において実施。減塩・1日野菜					
1.	目的			350g以上摂取にむけたポピュレーションアプローチを行う。					
				保健師栄養士による指導:6 日間	保健指導総数	町民	町外		
2.	実績			(保健師栄養士動員数 17 人)	91人	73人(80.2%)	18人(19.8%)		

3. 保健指導

①場所:スーパー丸大(野菜売り場)





③町の健康課題について情報提供



④希望する町民への血圧測定





4. 保健指導の様子

⑤南風原町長、副町長が実際に調理したレシピを紹介したほか、高血圧と肥満の解決に向けて、1 日野菜摂取350g以上と減塩調味料(日本高血圧学会認証減塩調味料)を活用したレシピを提供した。

(まとめ)町民が多く足を運ぶ町内スーパーでの保健指導は、初めての取り組みでしたが、若者から高齢者まで町の健康課題を周知する場として効率的となりました。